

平成28年度地域公共交通バリア解消促進事業
 (バリアフリー化設備等整備事業)
 「予讃線新居浜駅(愛媛県新居浜市)生活交通改善事業計画」

1. 事業の目的・内容及び必要性

新居浜駅は、1日当たりの利用者数が4,034人(平成27年度実績)であり、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」(バリアフリー法)の基本方針に掲げられた「1日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上である鉄軌道駅については、平成32年度末までに原則として全てについてバリアフリー化を実施する」との移動等円滑化に向けた整備目標を達成するため、また、自然災害時に迅速な防災行動を取りにくい高齢者や障がい者などの避難・移動手段を確保し、鉄道利用者の安全性及び利便性向上のため、内方線付き点状ブロック及び多機能トイレ等の整備を行う必要がある。

2. 事業の定量的な目標及び効果

新居浜駅において内方線付き点状ブロックを整備し、駅構内に「多機能トイレ」を設置することにより、1日当たりの利用者数が4,034人である新居浜駅の移動及び利用に係る安全性及び利便性の向上が図られる。

3. 事業内容と当該事業を実施する事業者

内方線付き点状ブロック、多機能トイレ、音声・音響案内装置設置、サイン改良及び関連付帯工事(事業者) 四国旅客鉄道株式会社

4. 事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

・平成28年度事業費 24,500千円 (総事業費 29,500千円)

【平成28年度 内訳】

| 負担者 | 負担額 | 負担割合 |
|-----------|---------|------|
| 新居浜市 | 4,083千円 | 1/6 |
| 四国旅客鉄道(株) | 8,168千円 | 1/3 |
| 国 | 8,166千円 | 1/3 |
| 県 | 4,083千円 | 1/6 |

※ 総事業費には、関連付帯工事(平成27年度事業)5,000千円を含む。

5. 計画期間

- ・平成27年度～平成28年度(2カ年)
- ・工事内容(内方線付き点状ブロック、多機能トイレ、音声・音響案内装置設置、サイン改良及び関連付帯工事等)
- ・設計・工事期間(平成28年3月～平成29年3月予定)

6. 協議会の開催状況と主な議論

| 開催 | 年月日 | 場所 | 主な内容 |
|---------------|------------------------|--------|--|
| 平成27年度 第1回 | 平成28年1月18日 (全体会) | 新居浜市役所 | 関係団体に事業内容等について報告 |
| 第2回 | 平成28年2月26日 (第1回分科会) | 書面開催 | 関係団体が費用負担等についての協議を行い、基本的に合意 計画に記載する利用者意見の収集方法について協議を行い、方法について合意 |
| 第3回 | 平成28年3月4日 (第2回分科会) | 新居浜市役所 | 意見の反映も含め、計画全体について合意 |
| 平成28年度 第1回 | 平成28年6月21日 (第3回分科会) | 書面開催 | 計画全体について承認 |

7. 利用者等の意見の反映

本事業を実施する四国旅客鉄道（株）の予讃線新居浜駅にバリアフリー整備に関する説明ポスター掲示及びアンケート調査票を約1週間（2月27日～3月3日）設置し、利用者等への意見募集を行った。また、障がい者団体等に対してもヒアリング調査を実施し、計画に関する意見を募集した。

主な意見として、

- ・いろいろな事情の人に便利のため、エレベーター、多機能トイレの設置を早急に進めてほしい。
 - ・高齢者、障がい者等に配慮したエレベーター、多機能トイレの設置をお願いしたい。
 - ・エレベーター、多機能トイレの位置について、誰にでもわかりやすい表示をお願いしたい。
- 意見を踏まえ協議会で検討を行い、高齢者、障がい者等の利用に配慮した本計画の策定に至った。

協議会（分科会）の構成

| | |
|-------|------------|
| 国 | 四国運輸局 |
| 都道府県 | 愛媛県 |
| 市区町村 | 新居浜市 |
| 鉄道事業者 | 四国旅客鉄道株式会社 |

平成28年6月21日
新居浜市地域公共交通活性化協議会